



「2007 動物感謝デー in TOKYO」とは

「獣医師」というと、犬や猫などの家庭動物や、馬、牛、豚や鶏などの産業動物のお医者さんというイメージが一般的です。しかし獣医師は動物の病気の診断、治療だけではなく、実に様々な分野において活躍しています。

たとえば、家畜防疫分野の獣医師は、動物の輸出入検疫をはじめ、家畜の伝染性疾病の予防、診断、調査、研究に、また、公衆衛生分野の獣医師は、食肉・鶏卵や乳製品に代表される畜産関連の食品の安全確保や、人と動物の共通感染症（共通感染症）の予防対策に、バイオメディカル分野の獣医師は新しい医薬品の研究・開発に従事しております。大学の教官は、獣医学研究と獣医学課程に学ぶ学生の教育に、ほかにも動物愛護・福祉分野、さらには動物園動物の診療や野生動物の保護・管理の仕事など、その範囲は非常に多岐にわたり、その全てが私たちの健康で安全な生活に直結しています。

最近の例としては、牛海綿状脳症（BSE）や鳥インフルエンザなどから国民の健康を守る最前線で活躍し、国産牛肉・鶏卵等の信頼回復に大きく貢献しました。また、国際化の進展とともに世界中の人や物の交流が活発化する中、狂犬病に代表される共通感染症の診断と予防、海外からの共通感染症の侵入防止に携わる獣医師の役割の重要性が一層高まっています。

一方、世界的に自然環境に対する関心が高まる中、絶滅が危惧される動物種の保存や外来生物対策などの環境保全対策を進めるうえにおいても獣医師に対する期待が一層高まってきています。このように、獣医師は動物の生命・健康に関わる活動のみならず、私たち人間の安心な暮らしを広く支えているのです。

社団法人日本獣医師会は獣医師に対する社会の期待に応えるべく、全国の都道府県と一部の政令指定都市に所在する55の地方獣医師会を会員とする団体として、公益活動を通じて社会に貢献するとともに、高度な専門職である獣医師を代表し、「いのちみつめる、いのち育む」を基本テーマとして幅広い活動に取り組んでいます。

この催事は本年度を第1回とし、世界獣医学協会が提唱する国際的行事である“World Veterinary Day”の趣旨を踏まえ、日夜努力を続ける獣医師の仕事の全体像を紹介し、獣医師とその職務への社会的理解を深めるとともに、獣医師と市民のみなさまとの間にさらなる良好な関係を築いていこうとするものです。

多数のみなさまのご来場を心よりお待ちしております。

平成19年6月

社団法人 日本獣医師会